

底井野校区住民座談会報告書（案）

～今後の改善に向けた方向性について～

平成31年1月

中間市都市計画課

○目次

1	住民座談会の実施概要	
1-1	住民座談会の目的	1
1-2	住民座談会の開催日時、場所、対象地区、参加人数	1
1-3	住民座談会における各会場でのご意見	2
1-3-1	垣生公民館【垣生町自治会】	2
1-3-2	下大隈公民館【下大隈自治会地区】	3
1-3-3	砂山公民館【砂山自治会地区】	4
1-3-4	上底井野公民館【上底井野自治会地区】	5
1-3-5	中底井野公民館【中底井野自治会地区】	6
1-4	なかよし号の今後の改善に向けた取組について	7
1-4-1	分類項目1から5に対する今後の取組について	7
2	今後の方向性について	
2-1	今後の取組に向けた基本方針とその取組・期間	1 2
2-1-1	中間市地域公共交通網形成計画の基本方針（地域公共交通の方針）	1 2
2-1-2	今後の取組内容	1 3
2-1-3	取組期間	1 3
2-1-4	取組によるなかよし号の目標	1 3
3	参考資料 なかよし号の運行実績	
3-1	垣生・下大隈系統（月曜・水曜日運行）	1 4
3-1-1	運行状況	1 4
3-1-2	各月の1便あたりの利用者数と1人あたりの市負担額	1 4
3-1-3	各停留所月平均乗降者数	1 5
3-2	砂山・底井野系統（火曜・金曜日運行）	1 6
3-2-1	運行状況	1 6
3-2-2	各月の1便あたりの利用者数と1人あたりの市負担額	1 6
3-2-3	各停留所月平均乗降者数	1 7

1. 住民座談会の実施概要

1-1 住民座談会の目的

運行3年目を迎えた底井野校区の予約型コミュニティバス「なかよし号」の利用促進を図るため、平成29年10月に実施した利用実態に関するアンケート調査の結果を基に、地域住民の生の声（ニーズ）を把握し、運行改善及び利用促進を図るとともに、「なかよし号」の運行目標である1便あたりの利用者2人の達成に向け、日常の買い物、通院などに外出するときの移動手段として選択してもらえるよう地域住民の意識の向上及び醸成を図ることを目的として実施いたしました。

1-2 住民座談会の開催日時、場所、対象地区、参加人数

開催日時	開催場所	対象地区	参加人数
10月16日（火）18時～	垣生公民館	垣生町自治会地区	18人
10月17日（水）18時～	下大隈公民館	下大隈自治会地区	19人
10月18日（木）18時～	砂山公民館	砂山自治会地区	7人
10月23日（火）18時～	上底井野公民館	上底井野自治会地区	22人
10月26日（金）18時～	中底井野公民館	中底井野自治会地区	10人

今回の住民座談会には、なかよし号の利用の有無や性別、お住まいなどに関わらず、関心のある方にご参加をいただくことができました。普段は利用していないが、近所に利用している高齢者の方がいる、外出のときは利用している、今後自家用車を運転できなくなったときに利用したいなど、それぞれの立場から、現在のなかよし号について感じている率直なご意見を多数いただくことができました。



なかよし号



イオンなかま店停留所

1-3 住民座談会における各会場でのご意見

1-3-1 垣生公民館【垣生町自治会地区】

コミュニティバス利用者：1人

（予約方法の改善）

- 事前に予約するというのは面倒である。
- 運行の1時間前の予約は厳しい。特に、病院の場合、診察が終わる時間は予測できない。
- 予約するのは面倒だが、1人しかいないときは目的地に直行するので便利である。

（運行方法の改善）

- 予約していなくても、バス停で待っている人がいたら乗せてほしい。
- 台風や積雪のときに、待っていたが来なかったことがあったので、来ないなら来ないで今後は連絡がほしい。
- 行きと帰りの人数が同じではないということは、きちんと利用できていないということではないのか。
- 帰りの便について、運行方法や運行時間などを見直した方がいいのではないか。

（運行の周知）

- 誰でも乗っていいことを分かっていない人が多い気がするのでPRした方がいい。

（その他の要望・意見）

- 体験などで利用すれば、固定利用者が増えていくのではないかと思う。
- 自分が運転出来なくなった時に備えて、維持しておいてほしい。
- ハピネスバスについて、ハピネス以外で降りている人もいるのではないか。本当はハピネス利用者のみが利用できるバスのはずである。
- 市役所のコミバス駐車場に一般車両が止まっているので、行政がなんとかすべきである。
- 工業団地の通勤等の実態把握をして、バスを通すようにしたらいいのではないか。

(運行ルートの改善)

- 垣生と砂山の両方を巡回するようにルートの変更はできないのか。
- コミバスは、買い物に利用することを想定しているようだが、スーパー等が近い停留所ではあまり下りていないように感じる。

(運行日数・便数の増便)

- 曜日を限定されると病院に行こうとしても行けないときがある。
- 月曜日と水曜日に限定せずに週4回の運行にすれば利用者が増えると思う。
- 病院に行っているが、金曜日なので利用することができない。
- 運行日を月曜日から金曜日までの範囲に広げるなど改善する気はないのか。
- イオンの火曜日に行けない。火曜日に運行してもらえたら利用者も増えるのではないか。
- 水曜日に病院に行っているので助かっている。往復で利用している。
- 月曜日は振替休日などで病院が休みの場合が多いので損しているとも言える。
- 市立病院に行くとき、4人乗っているときは時間がギリギリになるときがある。

(その他の要望・意見)

- 将来的に免許を返納して利用することになると思うので、利用しやすいように考えてほしい。
- バス停まで500mくらいなら歩ける。
- バスの時間に合わせて行動しているので今のところ不満はない。
- 建替え中の「にしてつストア」が新しくできたら使いたい。
- 毎月10日の組長会で、なかよし号について話したい。今後、まとまったら意見を言いたい。

(運行ルートの変更)

- 砂山にナフコができるが路線の変更はありうるのか。
- 中鶴に行く便がほしい。西鉄バスに乗り換えれば行けるが、遠回りしないといけない。
- 免許証を返しても元気な人が出かけられるよう目的地やルートを工夫して欲しい。
- 通院での利用は今後も増えてくると思うので、通院用のコースを考えるのも必要である。
- 個人病院の近くに止めていくことはできないのか。病院専用の便を作るのはどうか。
- 西鉄バスの撤退がきっかけなので、そのときと同じルートを走ったらいいのではないか。
- 西鉄バスのルートだと、中底井野や三軒屋の人たちは大変である。

(運行日数・便数の増便)

- なぜ木曜日は運休なのか。
- 身体が動けるうちに慣れておくにも、2時間おき、週2回の運行だとなかなか厳しい。
- 病院や買い物は、2、3時間では終わらない。

(予約方法の改善)

- 地域の人が話し合っただけで予約してもいいのでは。4人でグループを作るなど。
- 朝の段階で帰りの便も予約できるかという点も難しいかもしれない。
- 帰りの便の予約は、行った先で用事を済ませることができるかにもよるが、2時間もバスを待つことはできない。

(運行方法の見直し)

- 夜の便もあれば夜に外出できる。
- 帰りが難しい。ハピネスバスを利用させてほしい。
- いっそのこと行き便だけにしたい。
- 便を1つ逃すと2時間待たなくてはならない。
- 店舗や人口の増減などにより今後もニーズが変わってくるが、臨機応変に対応してほしい。

(運行の周知)

- もうちょっと周知した方がいい。

(その他の要望・意見)

- ハピネスバスを併用できないか。1人、2人しか乗っていないときがある。どこに誰が座るのか決まっているという話や、実際はハピネスではなく途中で降ろしてもらっているという話を聞いたことがある。現在の運用ではもったいないが、利用価値はあると思う。
- 利用者の総数ではなく何人の方に利用していただいているのか知りたい。
- 今は必要ないという人たちも、免許証を返納すればいずれはお世話になる。
- 乗客数を増やすために回数券を地区ごとに配ることはできないのか。
- この事業は、収入の少ない高齢者に対する市からの支援という側面もあるのでは。
- 家族構成も変わってきているので、今後はより重要になる。

(運行ルートの変更)

○市は大変かもしれないが、駅、市役所、病院等場所を決めて運行してはどうか。

(運行日数・便数の増便)

○利用者を増やすのであれば、曜日を指定せず運行するのはどうか。

○木曜日に運行していないのはなぜか？

○日曜日に買い物に行く際に、行きはハピネスバスを利用して帰りはタクシーを使っている。
日曜日に運行してくれると助かる。

○利用しなければ市の負担がないということなら、便数を増やしたらどうか。

(予約方法の変更)

○行きはともかく、帰りの便は1時間前ではなく30分前までの予約を可能にしてほしい。

○予約制ではのんびりした気持ちでは乗れない。

○予約制だと、乗るときに行動をいろいろと考えないといけない。

(運行方法の見直し)

○予約制では我々は利用しにくい。気軽に利用できない。

○時間を決めて運行した方が、これから利用者も増えてくると思う。

○市職員の担当者を決めて中型バスで巡回した方が安くつくのではないか。

○西鉄バスと同じ方が乗りやすい。

○常に予備車両を確保しているということだが、予備を他の系統に回して運行できないか。

(その他の要望・意見)

○自前で運行した方が費用がかかるなら、市民としてはなるべく費用がかからない方がよい。

(運行ルートの改善)

- 中底井野3組のバス停の利用が多いが、下りる人はほとんどいない。
- 中底井野は遠賀が生活圏である。遠賀方面に行く便がほしいので、いずれは遠賀町の近くに停留所を設置するなどルートの見直しを協議してほしい。

(運行日数・便数の増便)

- 便数を増やしてほしい。
- 帰りの便の方が利用が少ない理由が知りたい。

(予約方法の改善)

- 予約が面倒である。使い慣れてくればいいのかもわからないが。
- 病院が何時に終わるかわからないので、帰りの便を予約しにくい。
- 待ち時間が長い、そこまですまなく時間をつぶせない。

(運行方法の見直し)

- 現在はタクシーで運行しているが、市がバスを購入する計画はないのか。

(その他の要望・意見)

- 中底井野には公共交通がない。しばらく車を運転したいが、いずれはタクシーなどを使わないと厳しいとは思っている。
- 車を所有している子どもがいても、子どもたちに用事がある場合などは必ず乗れるわけでもないし、頼むこと自体が気を遣うという意見も聞く。
- これから、団塊の世代の高齢者が増えてくるので必要だと思う。
- 試しに乗ってみるのもいいかもしれない。暇なときにでも。
- なかよし号はなくさないでほしい。中底井野は今後絶対に困ることになると思う。
- こういった座談会はまたやるのか？毎年でもやってほしい。

1-4 なかよし号の今後の改善に向けた取組について

底井野校区住民座談会では、延べ76名（昨年度中間南校区住民座談会：74名）が参加し、なかよし号がよりよい地域の移動手段となるよう貴重なご意見を多数いただきました。

今回、ご意見を整理するにあたり、下記のような項目で分類を行いました。平成29年度に実施した利用実態に関するアンケート調査と今回の底井野校区住民座談会でのご意見を基に、改善に向けた検討を行います。

分類項目	ご意見の内容
1	運行ルートの変更
2	運行日数・便数の改善
3	予約方法の改善
4	運行方法の見直し
5	運行の周知
6	その他の要望・意見

今回の底井野校区住民座談会のご意見を上記の6つの項目に分類いたしました。

1-4-1 分類項目1から5に対する今後の取組について

(1) 分類項目1 運行ルートの改善

運行ルートの改善では、現在は設置していない中鶴地区への停留所の要望や、操業予定の新たな商業施設への停留所の設置、2系統のルートの統合などを求めるご意見をいただきました。

また、一部の地域においては、生活圏が中間市に隣接している遠賀町まで及んでいることから、遠賀町の路線バスに結節できるようなルートの延伸を希望するご意見もいただきました。

さらに、市内の病院のみを巡回する便を求めるご意見もいただきました。

前提として、停留所を設置する場所については、国土交通省はもちろん、福岡県警、地権者など関係する方との調整、また道路交通法上の決まりがあり、道路運送法に基づく「地域公共交通会議」での協議を経て、国土交通省に届出を行いますので、すぐに新規設置や見直しを行うことができるわけではございません。

まず、中鶴地区への停留所の設置については、コミュニティバスの導入当初に定めた基本方針の1つに既存の公共交通機関の利用促進を定めております。当該地区には西鉄バスが運行していることから、西鉄バス中間線と競合してしまうことが懸念されますので、共存共栄できるようコミュニティバスと役割分担をすることが重要と考えています。

次に、操業予定の新たな商業施設への停留所の設置については、コミュニティバスの運行ルート上に立地していますので設置は可能だと考えますが、まずは実際に地域住民のニーズの把握も必要です。その上で、利用者がほとんどいない停留所の見直しも含めたところで検討に取り組み、その中で地域住民の方が利用しやすい停留所を検討いたします。

ルートの統合については、現時点の停留所をすべて結ぶルートを統合した場合、予約状況にもよ

りますが、大幅な運行時間の延長となってしまいます。しかし、運行日数・便数の改善と関連付けた形のご意見でしたので、1日当たりの便数を減らすなどで対応することは可能かもしれません。

市内の病院のみを巡回する便については、現在、なかよし号は通院と買い物を主な利用目的として運行していますが、地域の実情として通院のみに特化した形が望ましいということであれば既存のルートを大幅に見直すことは可能です。しかし、新たにルートを設定することにはなりませんので、現在、買い物を中心に利用されている方にとってはサービスの低下になりますことから、慎重に検討すべきだと考えます。

今後、利用者がほとんどいない停留所の見直しや西鉄バスとなかよし号の連携などについては、他市町村で取り組む事例を参考として底井野校区に適したルートを検討いたします。

【分類項目1 運行ルートの改善に対する取組内容】

- ① 利用者のいない停留所の見直し、及び地域の実情に適した運行ルートの検討
- ② 西鉄バスとなかよし号の連携の検討

(2) 分類項目2 運行日数・便数の改善

運行日数・便数の改善では、週2日運行ではなく週4日運行や毎日の運行を求めのご意見や1日の運行便数の増加を求めのご意見をいただきました。

具体的には、現在の週2日運行では、病院の予約が合わない、イオンなかま店の火曜市にいけない、水曜日の運行が終わったら月曜日まで4日間運行がない、木曜日でも運行すべき、日曜日でも運行してほしいなどのご意見を多くいただきました。

また、帰りの便の利用が少ないことから、帰りの便の運行を見直すべきというご意見もいただきました。

運行日数と便数については、現在、なかよし号の運行にあたって国の補助金を活用することで市の負担を軽減するよう努めています。

まずは、効率的な運行を目指すため、運行率の低い便の見直しの検討や、前述の運行ルートの統合の検討などにより、運行率の底上げを目指す必要があります。

このように効率的な運行を目指す中で、底井野校区に適した運行について、毎日運行した場合の経費や便数を増やした場合の経費も含め検討いたします。

【分類項目2 運行日数・便数の改善に対する取組内容】

- ① 運行率の低い便の見直しの検討
- ② 運行率の改善を前提とした運行日数及び運行便数の検討

(3) 分類項目3 予約方法の改善

予約方法の改善では、予約が面倒である、帰る時間の予測がつかないので事前に帰りの便を予約しにくい、いろいろ考えて予約しないといけないので気軽に乗れない、予約していなくてもバス停で待っている人がいたら乗せてほしい、1時間前までの予約の締切りをもう少し短くしてほしい、などのご意見をいただきました。

一方で、予約は面倒だが、1人の乗車のときは目的地に直行するので便利であるというご意見もいただきました。

予約がない場合でもバス停で待っている人を乗せてほしいというご意見については、予約が入っていない停留所には原則としてタクシー車両は止まりませんので、現状では対応が困難です。予約が入っている停留所で予約していない方が待っている場合は、乗車が可能ではないかと思われるかもしれませんが、運行事業者は事前の予約の際に、何人の方が乗車するかにより追走が必要かどうかを判断しています。停留所で予約していない方が乗車した結果、定員を超えた場合は追走が必要となってしまう、その時点で配車するとなると、事前に予約している方をお待たせしてしまうこととなりますので望ましくありません。

予約の締切りについては、1時間前までというのは導入時に協議した際の取り決めですが、変更する場合は運行事業者と協議をする必要があります。また、運行事業者は、タクシー事業も行っていきますので、過度の負担とならないよう注意する必要がありますので、慎重に検討いたします。

【分類項目3 予約方法の改善に対する取組内容】

① 予約締切時間の変更の検討（運行事業者と協議の上）

(4) 分類項目4 運行方法の見直し

運行方法の見直しでは、長い目で見れば路線定期運行の方が利用者も増えると思うというご意見や夜の便を希望する、帰りの便の利用が難しい、ハピネスバスを利用させてほしい、行きの便だけにしてはどうか、便を1つ乗り過ごす、次の便が2時間後なので使いにくい、市がバスを買って回った方が安くつく、予約時のみの運行なら便数自体を増やしてほしい、予備車両を他に回してでも毎日運行してほしい、などのご意見がありました。

また、災害等により運行しない場合は連絡がほしいといったご意見もいただきました。

一方で、路線定期運行にした方が多くの費用がかかるなら、市民としては費用がかからない方がよいというご意見もいただきました。

路線定期運行については、底井野校区では、過去に路線バスが走っていましたが、利用者が減少し採算が合わない状態が続いたため、平成25年3月に路線が廃止となりました。そうした経緯がありますので、同じ形で運行したとしても利用者の増加は期待できないため、路線バスと同じ形の運行は望ましくありません。

また、底井野校区は、中間南校区のように坂道が多く高低差のある地形ではなく、人口数及び世帯数が中間南校区の3分の1程度であるにもかかわらず、底井野校区の面積は中間南校区に比べ広大ですので、路線定期運行では運行時間が非常に長くなり、利便性が損なわれてしまいます。

台風や積雪による運休の場合は、市から直接連絡がほしいというご意見については、市がお客様の個人情報を運行事業者から入手することは不可能であるため、現状は、運行日当日の7時30分までに運行の可否を決定し、運休する場合は、コミュニティ無線で速やかに放送を行い、市のホームページで周知することになっています。しかし、コミュニティ無線は聞こえにくいというご意見もありますので、台風や積雪による運休の際の伝達の取り決めは必要であると思います。

今後も運行事業者と連携し、運行体制の管理徹底、安全運行に努め、近隣市町村で取り組む運行方法等を研究し、底井野校区の皆さんとともに育て、より利便性のある移動手段を継続的に提供できるように、地域公共交通会議をはじめ市の関係各課、そして関係者と検討してまいります。

【コミュニティバス導入時に定めた基本方針】

- ① 既存の公共交通機関との利用促進（連携）
- ② 継続性・経済性・安全性の確保
- ③ 高所地区・交通不便地区の移動の足（手段）の確保
- ④ 地域住民からの要望（フレンドリー号）

【分類項目4 運行方法の見直しに対する取組内容】

- ① 利便性のある移動手段を継続的に安全に提供できるように近隣市町村の取組などを地域公共交通会議や市関係各課・関係者と検討
- ② 運休時における周知方法の見直し検討

（5）分類項目5 運行の周知

運行の周知では、だれでも乗っていいということをおぼろげに知っている人が多いと思う、コミバスの存在を知らない状況と思う、体験的に利用すれば固定利用者が増えていくと思う、もっとPRした方がよい、などのご意見をいただきました。

PRについては、運行開始時に広報紙やホームページなどで周知を行ったり、運行マップを定期的に配布したりしていますが、現在でも、なかよし号の存在自体を知らなかったという方はいらっしゃいます。

コミュニティバスを維持していくためには、まずは住民の方々に乗っていただかないといけません。従来の方法だけではなく別の方法も検討しながら、より一層の周知・啓発を行ってまいります。

【分類項目5 運行の周知に対する取組内容】

- ① 広報紙などによる継続的・定期的な周知の実施
- ② 従来の方法以外の新たな周知方法の検討

(6) 分類項目6 その他の要望・意見

上記の分類以外では、工業団地の通勤等の実態を把握して公共のバスを通した方がよい、自分が運転出来なくなった時に備えて維持しておいてほしい、将来利用するときには利用しやすいように考えてほしい、バスの時間に合わせて行動しているので今のところ不満はない、にしてつストアが新しくできたら使いたい、組長会でなかよし号について話し合った後に意見を言いたい、利用者の総数ではなく何人が利用しているのか知りたい、なかよし号はなくさないでほしい、座談会は毎年でもやってほしい、ハピネスなかま送迎バスはハピネスに行くためのバスなのに、違う場所で降りるのはおかしい、などのご意見をいただきました。

特に、すべての会場でなかよし号をなくしてほしくないというご意見を多数いただいています。すでに利用されている方はもちろん、現在は利用されていない方からも、今後の利用意向があるので残しておいてほしいというご意見をいただきました。市としても、地域住民の移動手段としてなかよし号を維持していきたいと考えています。座談会を毎年やってほしいというご意見もいただいていますので、今後もより良い形で運行できるよう底井野校区住民の皆さまとともに検討・改善をしていきたいと考えています。

2. 今後の方向性について

2-1 今後の取組に向けた基本方針とその取組・期間

2-1-1 中間市地域公共交通網形成計画の基本方針（地域公共交通の方針）

○中間市地域公共交通網形成計画

中間市地域公共交通網形成計画とは、公共交通の将来像及び今後の展開方策を示した地域公共交通の基本となる計画で、平成28年3月に策定いたしました。

（1）公共交通の課題

- ①中間市西部の公共交通空白地区への対策
- ②中間市東部の公共交通不便地への対策検討
- ③西鉄バス中間線をはじめとする路線バスの利用促進
- ④公共交通ネットワークとしての利便性向上による利用促進

（2）今後の方策

- ①公共交通不便地の解消
- ②中間市の公共交通ネットワークの強化
- ③中間市の交通まちづくりに対する市民の意識向上

上記の4つの課題への対策として、3つの方策に取り組むため、下記の基本方針を設定。

【地域公共交通の基本方針】

体系的な交通ネットワークを整備するとともに、利便性の向上、交通環境の整備により周辺地域との交流及び都市内の円滑な移動を支えるネットワークの構築



地域公共交通ネットワークの構築

2-1-2 今後の取組内容

分類 項目	今後の取組内容
1	運行ルートの変更 ① 利用者のいない停留所の見直し、及び地域の実情に適した運行ルートの検討 ② 西鉄バスとなかよし号の連携の検討
2	運行日数・便数の改善 ① 運行率の低い便の見直しの検討 ② 運行率の改善を前提とした運行日数及び運行便数の検討
3	予約方法の改善 ① 予約締切時間の変更の検討（運行事業者と協議の上）
4	運行方法の改善 ① 利便性のある移動手段を継続的に安全に提供できるよう近隣市町村の取組などを地域公共交通会議や市関係各課・関係者と検討 ② 運休時における周知方法の見直し検討
5	運行の周知 ① 広報紙などによる継続的・定期的な周知の実施 ② 従来の方法以外の新たな周知方法の検討

2-1-3 取組期間

平成30年度から平成32年度まで（中間市地域公共交通網形成計画の計画期間）

2-1-4 取組によるなかよし号の目標

なかよし号の目標（計画策定時から目標年度（H32年度））

	(計画策定時)	(H32年度)
①公共交通不便地の割合	32.4%	→ 12.9%
【参考】なかよし号導入時の目標		
1便あたりの利用者数	1.33人/便（H28）	→ 2.0人/便

3. 参考資料 なかよし号の運行実績

3-1 垣生・下大隈系統（月曜・水曜日運行）

3-1-1 運行状況

①運行1年目（平成28年10月～平成29年9月）

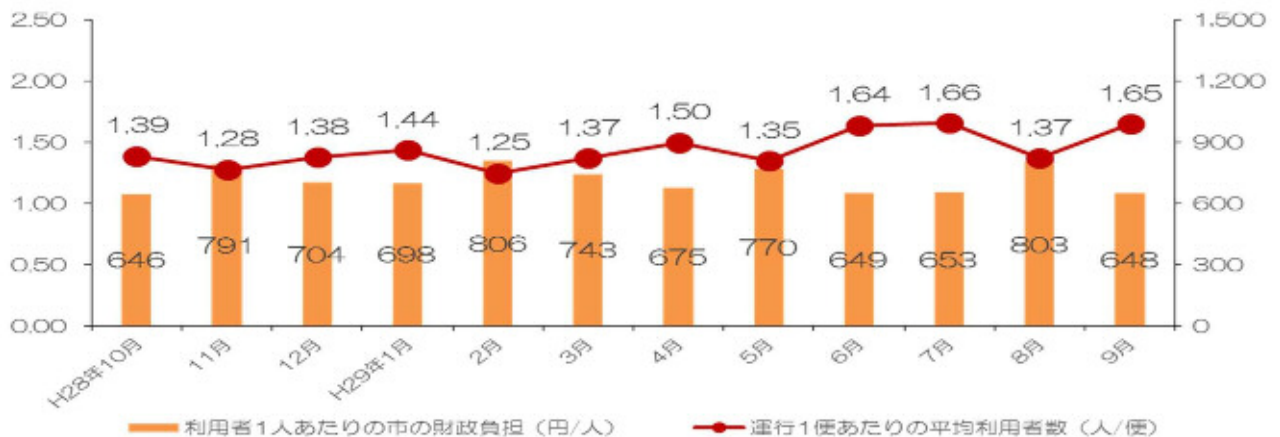
	運行便数 (便)	利用総数 (人)	運行経費 (円)	運賃収入 (円)	市の補てん額 (円)	運行1便あたりの 平均利用者数 (人/便)	利用者1人あたりの市の財政負担 (円/人)
計	374	539	470,390	86,100	384,290	1.44	713

②運行2年目（平成29年10月～平成30年9月）

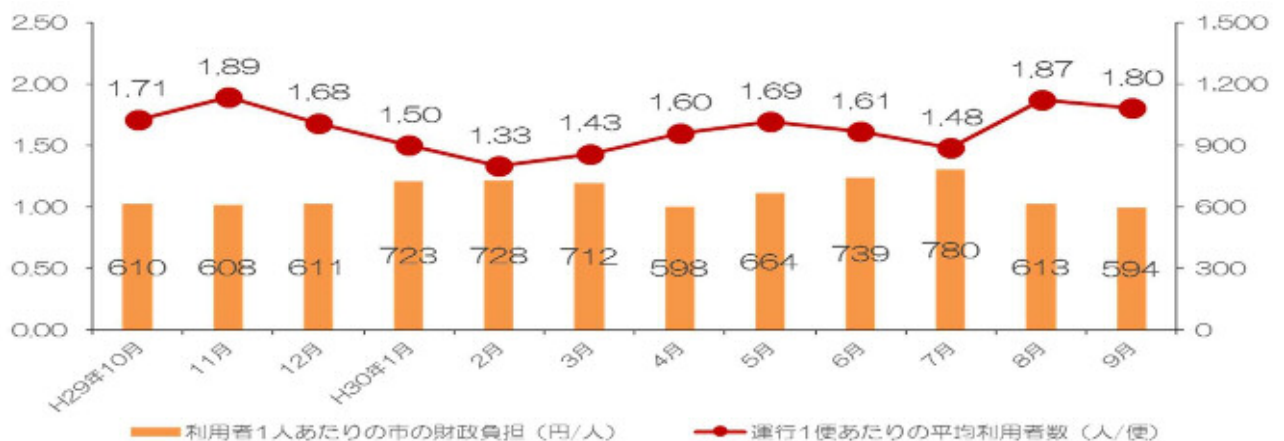
	運行便数 (便)	利用総数 (人)	運行経費 (円)	運賃収入 (円)	市の補てん額 (円)	運行1便あたりの 平均利用者数 (人/便)	利用者1人あたりの市の財政負担 (円/人)
計	406	661	541,580	107,100	434,480	1.63	657

3-1-2 各月の1便あたりの利用数と1人あたりの市負担額

①運行1年目（平成28年10月～平成29年9月）

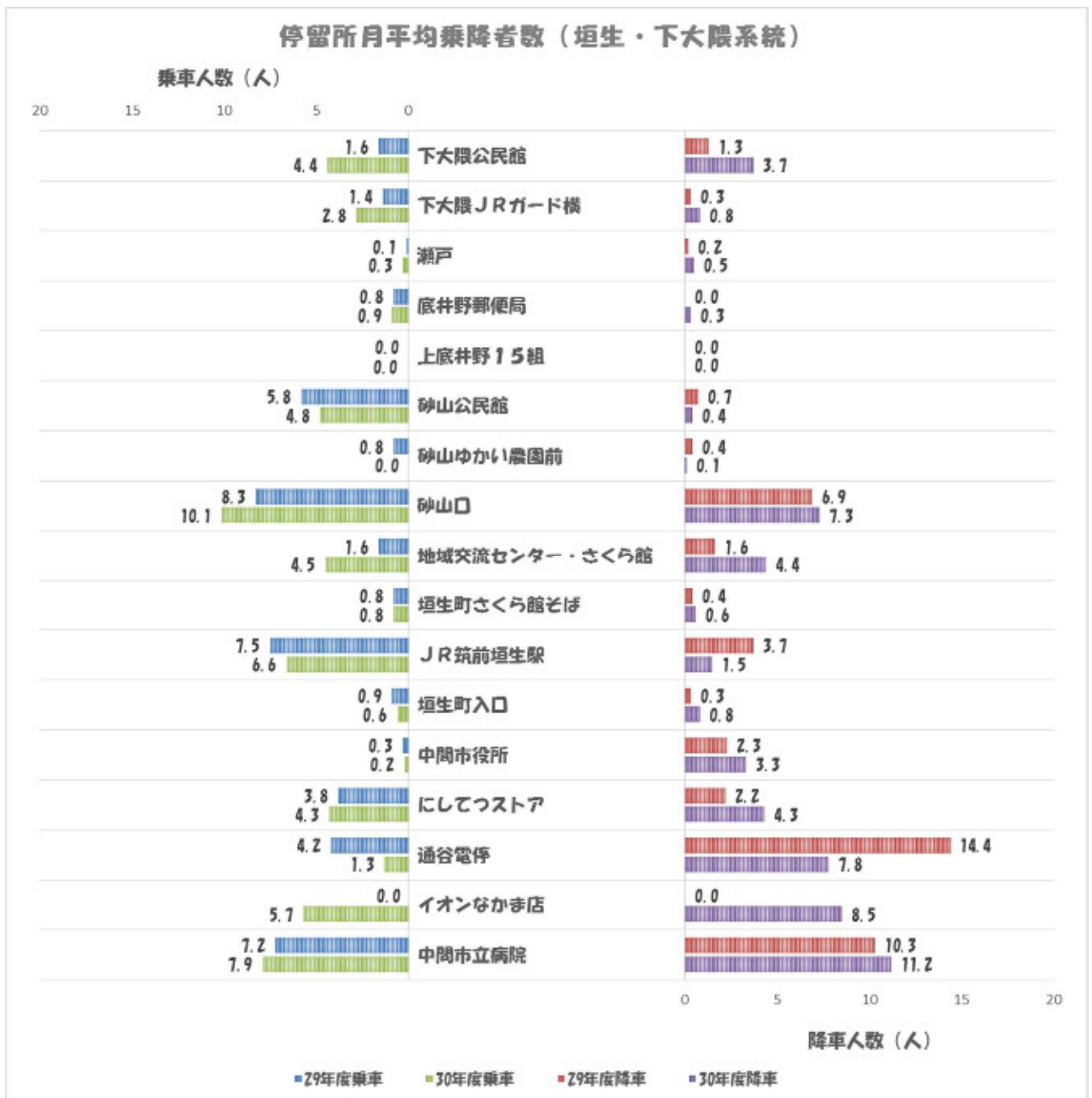


②運行2年目（平成29年10月～平成30年9月）



3-1-3 各停留所月平均乗降者数

停留所名称	平成29年度(H28.10~H29.9)				平成30年度(H29.10~H30.9)			
	乗車人数	降車人数	乗降者計	月平均乗降者	乗車人数	降車人数	乗降者計	月平均乗降者
下大隈公民館	19	15	34	2.8	53	44	97	8.1
下大隈JRガード横	17	4	21	1.8	34	9	43	3.6
瀬戸	1	2	3	0.3	3	6	9	0.8
底井野郵便局	10	0	10	0.8	11	3	14	1.2
上底井野15組	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
砂山公民館	69	8	77	6.4	57	5	62	5.2
砂山ゆかい農園前	9	5	14	1.2	0	1	1	0.1
砂山口	99	83	182	15.2	121	87	208	17.3
地域交流センター・さくら館	19	19	38	3.2	54	53	107	8.9
垣生町さくら館そば	10	5	15	1.3	9	7	16	1.3
JR筑前垣生駅	90	44	134	11.2	79	18	97	8.1
垣生町入口	11	4	15	1.3	7	9	16	1.3
中間市役所	3	27	30	2.5	2	39	41	3.4
にしてつストア	46	26	72	6.0	52	51	103	8.6
通谷電停	50	173	223	18.6	16	93	109	9.1
イオンなかま店	-	-	-	-	68	102	170	14.2
中間市立病院	86	124	210	17.5	95	134	229	19.1
計	539	539	1,078		661	661	1,322	



3-2 砂山・底井野系統（火曜・金曜日運行）

3-2-1 運行状況

①運行1年目（平成27年10月～平成29年9月）

	運行便数 (便)	利用総数 (人)	運行経費 (円)	運賃収入 (円)	市の補てん額 (円)	運行1便あたりの 平均利用者数 (人/便)	利用者1人あた りの市の財政負 担(円/人)
計	433	640	577,510	111,800	465,710	1.48	728

②運行2年目（平成29年10月～平成30年9月）

	運行便数 (便)	利用総数 (人)	運行経費 (円)	運賃収入 (円)	市の補てん額 (円)	運行1便あたりの 平均利用者数 (人/便)	利用者1人あた りの市の財政負 担(円/人)
計	461	753	638,890	132,100	506,790	1.63	673

3-2-2 各月の1便あたりの利用数と1人あたりの市負担額

①運行1年目（平成28年10月～平成29年9月）

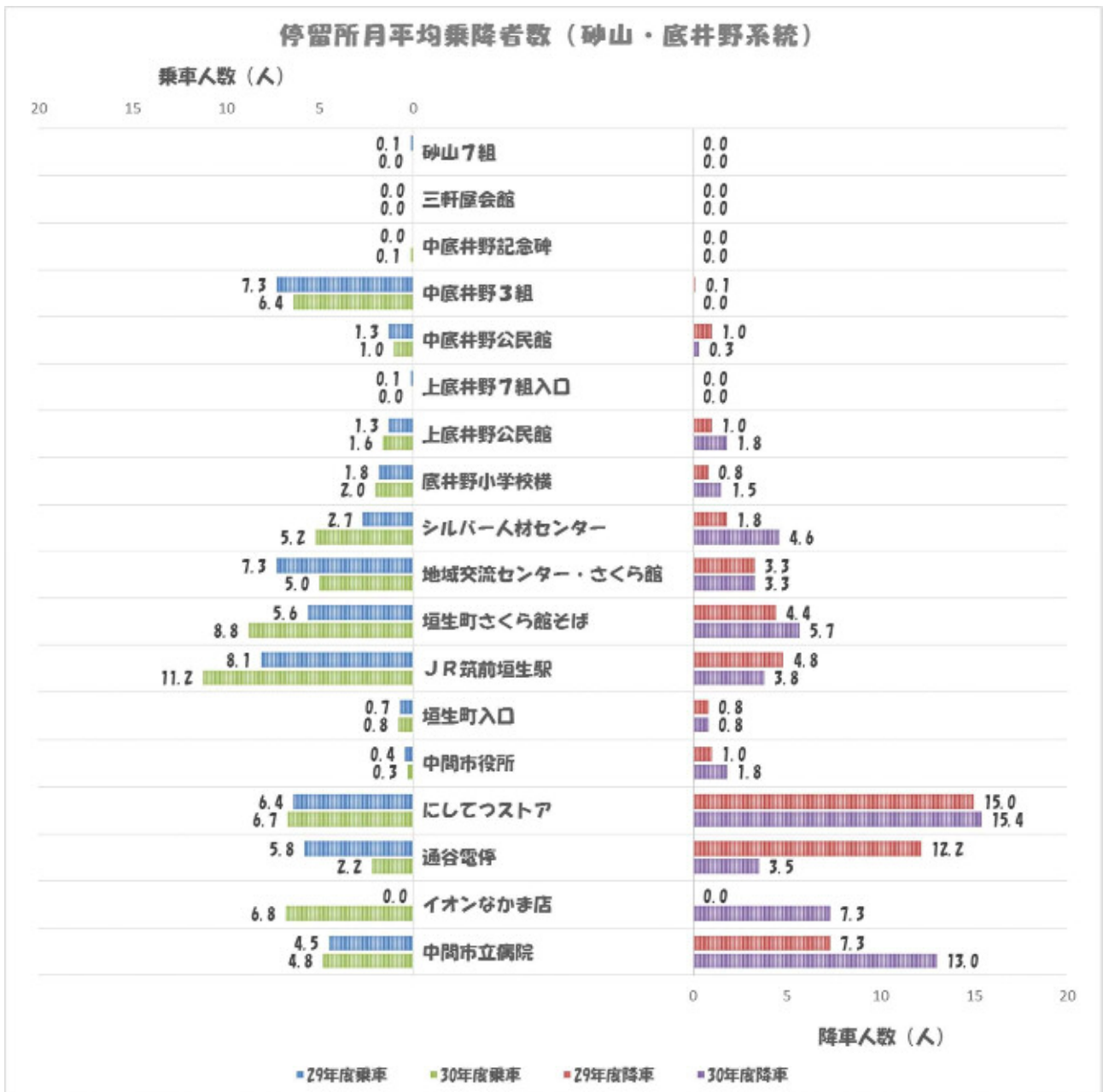


②運行2年目（平成29年10月～平成30年9月）



3-2-3 各停留所月平均乗降者数

停留所名称	平成29年度(H28.10~H29.9)				平成30年度(H29.10~H30.9)			
	乗車人数	降車人数	乗降者計	月平均乗降者	乗車人数	降車人数	乗降者計	月平均乗降者
砂山7組	1	0	1	0.1	0	0	0	0.0
三軒屋会館	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
中底井野記念碑	0	0	0	0.0	1	0	1	0.1
中底井野3組	88	1	89	7.4	77	0	77	6.4
中底井野公民館	16	12	28	2.3	12	4	16	1.3
上底井野7組入口	1	0	1	0.1	0	0	0	0.0
上底井野公民館	15	12	27	2.3	19	21	40	3.3
底井野小学校横	22	9	31	2.6	24	18	42	3.5
シルバー人材センター	32	22	54	4.5	62	55	117	9.8
地域交流センター・さくら館	88	40	128	10.7	60	40	100	8.3
垣生町さくら館そば	67	53	120	10.0	106	68	174	14.5
JR筑前垣生駅	97	57	154	12.8	134	46	180	15.0
垣生町入口	8	9	17	1.4	9	9	18	1.5
中間市役所	5	12	17	1.4	4	22	26	2.2
にしてつストア	77	180	257	21.4	80	185	265	22.1
通谷電停	69	146	215	17.9	26	42	68	5.7
イオンなかま店	-	-	-	-	82	87	169	14.1
中間市立病院	54	87	141	11.8	57	156	213	17.8
計	640	640	1,280		753	753	1,506	





底井野校区住民座談会報告書

平成 年 月

〒809-8501

福岡県中間市中間一丁目1番1号

中間市 建設産業部 都市計画課

電 話：093-246-6155

F A X：093-244-1342

<http://www.city.nakama.lg.jp/>